

下水道部で取り組んでいる地震対策詳細

静岡市下水道総合地震対策計画（平成 25 年度～令和 4 年度）を策定

被災前に下水道施設の耐震補強を行う防災対策と下水道施設被災後の速やかな応急対応を行う減災対策を耐震対策として実施しています。

防災対策

1) 管路施設（下水道管、マンホール）

過去の被災事例（写真 1）と同様の事態となることが想定されるため、管路施設の防災対策が必要です。

そのため、緊急輸送路下の埋設管路や浄化センターと防災拠点（避難所、病院等）をつなぐ管路施設から優先的に防災対策（写真 2、写真 3）を実施しています。



写真 1：東北地方太平洋沖地震（静岡市撮影）



写真 2：施工前（馬蹄きょ）



写真 3：耐震補強完了後

静岡市下水道総合地震対策計画（管路施設）

(単位: km)

	(総合地震対策計画) H25～R4	(中・長期計画)	(対策済)	(重要な幹線等 計)
静岡市	124.063	157.225	192.886	474.174

H23静岡市下水道総合地震対策計画報告書より

R1未完了	60.977
-------	--------

総合地震対策計画実施率(R1末) = $60.977 / 124.063 \times 100 = 49.2\%$

重要な幹線等に対する耐震化率(R1末) = $(60.977 + 192.886) / 474.174 \times 100 = 53.5\%$

2) 浄化センター・ポンプ場施設

過去の被災事例（写真4）と同様の事態となることが想定されるため、浄化センター・ポンプ場施設についても防災対策が必要です。

そのため、以下のとおり構造物の継ぎ目からの未処理下水流出を防ぐ対策として特に効果の高い伸縮継手の設置（写真5）から優先的に実施しています。



写真4：東北地方太平洋沖地震（静岡市撮影）



ハンチ部
(右写真を参照)



管廊部（ハンチ部）



反応タンク（水槽内部）

写真5：伸縮継手の設置例（中島浄化センター）

静岡市下水道総合地震対策計画（浄化センター・ポンプ場施設）

施設名	(総合地震対策計画) H25～R4	(中・長期計画) R5以降
高松浄化センター	継手の耐震化	継手の耐震化、杭・躯体補強
城北浄化センター		
中島浄化センター		
長田浄化センター		継手の耐震化、躯体補強
清水南部浄化センター		杭・躯体補強
清水北部浄化センター		継手の耐震化、杭・躯体補強
小鹿ポンプ場	—	杭・躯体補強
西大谷ポンプ場	—	
用宗ポンプ場	耐震補強は不要(継手の耐震化済)	
築地ポンプ場	継手の耐震化	杭・躯体補強
清開ポンプ場	—	
浜田ポンプ場	継手の耐震化	
宮加三ポンプ場	—	
折戸ポンプ場	—	
愛染ポンプ場	継手の耐震化	躯体補強
三保汚水ポンプ場	耐震補強は不要(継手の耐震化済)	
中島雨水ポンプ場	継手の耐震化	杭・躯体補強
下川原雨水ポンプ場		躯体補強
折戸雨水ポンプ場		杭・躯体補強
三保雨水ポンプ場		

減災対策

大規模地震に見舞われ、浄化センターが被災した場合は、赤の破線で示した仮設施設を場内に設け、速やかに応急復旧を行う減災対策としての対応を考えています。

